

vol. 33  
J u l y  
2022

# JDS Network News

発行元：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）



表紙：ブータン（パロ県）の風景

**JDS 生×人事院職員  
人事院近畿事務局主催、行政官交流会を開催**

**来日前の現地日本語研修（100時間）を各国で開始**

**東京農工大学 JDS ウズベキスタン留学生  
東京オリンピックについて、流暢な日本語でスピーチを披露**

**世界の朝ごはん：ブータン**

JDS 生×人事院職員

## 人事院近畿事務局主催、行政官交流会を開催



2022年6月20日、人事院近畿事務局からのご提案があり、JDS 留学生と人事院職員による交流会が開催されました。本会には、JDS 留学生 12 名、人事院職員 4 名が参加しました。冒頭、二井矢局長より留学生へむけた“Outline and Features of the Japanese Public Employee System”と題した日本の行政について紹介する講義があり、その後グループに分かれて、活発な意見交換が行われました。

参加した留学生からのコメントでは、「日本および他国 JDS 留学生の出身国の人事制度について学び、母国の制度について振り返る機会となった。特に公務員の評価制度については、改善の余地があると痛感した。」「非常に有益な会なので、より多くの JDS 留学生に参加の機会が与えられることを希望する。来年の第二回開催を検討していただければ嬉しい。」と参加者の反響は非常に大きく、感謝の言葉と共に、さらなる行政官同士のつながりへの期待を込めたコメントが多く寄せられました。



グループディスカッションの様子

SINCE 1999



Where  
Leaders  
are made.



**JDS** The Project for  
Human Resource Development  
Scholarship by Japanese Grant Aid

## 来日前の現地日本語研修(100 時間)を各国で開始



真剣に日本語を学ぶ様子 (キルギス生)



習字を披露! (モンゴル生)

今年 2022 年春から、JDS 実施中の 16 カ国で JDS 留学生の来日前に現地での日本語研修プログラム(100 時間)が開始されました。本研修を通して、日本への理解を深め、地域や大学でのコミュニケーションの円滑化を図ることで、真の知日派・親日家の育成を目指しています。

今夏に来日するまでの短期間に日本語を身に付けるため、JDS 留学生は平日の公務の後や週末に日本語の授業に参加し、基礎的な日本語を学習することから始めて、基本的な日本語をある程度理解できるレベル(日本語能力試験レベル: N5)への到達を目標にしています。

なお、留学生の中には、早速習った日本語を教室内の友人や日本人に使う者もでてきて、「こんにちは!」「お疲れさまです」という声が教室の中で飛び交っている様子もみられました。

### 東京農工大学 JDS ウズベキスタン留学生

#### 東京オリンピックについて、流暢な日本語でスピーチを披露



OMONOV 氏は、東京農工大学で修士号 (Master of Agriculture) を取得。博士課程で留学する今回が、2 度目の留学となる。今年の春から、お子さんも日本の小学校に通っている。

JDS ウズベキスタン生として東京農工大学に留学中の OMONOV Aziz Samievich 氏が、12 月 12 日に一般社団法人小平市国際交流協会(KIFA)主催の第 7 回小平市日本語発表会にてスピーチを行いました。

スピーチのテーマには、2021 年に開催された東京オリンピックを選びました。コロナ禍で開催が 1 年延期となったことや新競技の追加、各国のメダル獲得状況などについて、多くのイラストや写真を含んだスライドを準備し、流暢な日本語で発表しました。当日は 100 名以上の聴衆が参加する盛り上がりで、後日 KIFA の機関紙にも発表の様子が掲載されました。

「日本人、日本文化、そして日本語に尊敬の気持ちを抱いています。日々の生活の中でも私や私の子供たちは日本語で話す機会が沢山あり、この 2 年間、積極的に日本語を勉強してきました」と述べる OMONOV 氏。今はお子さんと日本語で話したり、土曜日に開催される KIFA の日本語教室に参加するなど、さらに日本語に磨きをかけているとのこと。



ブータン王国はヒマラヤ南面山麓に位置し、国土の約半分が標高 3,000m 以上あります。亜熱帯気候の南部と北部の高低差は 7,400m 以上ありますが、多くの国民が暮らす首都ティンブーも、標高 2,320m に位置する高山気候です。そんなブータンでは、唐辛子の消費量が世界一とも言われ、香辛料ならぬ「野菜」として国民に愛され、料理にもふんだんに使われています。今回はそんなブータンのあったか朝ごはんをご紹介します。

### Thukpa



『トウクパ』

トウクパは麺を入れたスープで、鶏肉、牛肉、豚肉、野菜が入ったいわゆる日本の煮込みうどんに近い料理です。特に冬場の寒い時期に、体を芯から温めるために食べられているそうです。

### Suga



『スジャ（バター茶）』

主に朝食時に飲まれる定番のお茶。地元の茶葉を煮出したものにバターを混ぜ、塩をひとつまみ加えます。見た目はココアのようなのですが、バタースープの様な味わいで、冬の朝に飲むと体がポカポカ温まるそうです。

### Bathuk



『バトウプ』

牛肉、玉ねぎ、ほうれん草、大根、トマト、ニンニク、生姜、唐辛子などで作られたピリ辛なスープに、きしめんやすいとんに似た歯ごたえのある麺を入れて煮込みます。作った日の翌朝食べるバトウプは、味がしみて絶品だそうです。

## JDS 3つの特徴

- 1 **行政官限定事業**  
※一部例外がございます
- 2 **5,410名 21カ国の実績**  
※事業終了国の人数も含む
- 3 **大臣・局長級を輩出**

対象国の社会・経済開発計画の立案・実施に関わる若手行政官が日本で修士号または博士号を取得します。

出身省庁…**財務・経済、法務、行政、環境、インフラ、教育等**

<事業実施対象国> ※受入人数順

ベトナム、ミャンマー、カンボジア、ラオス、バングラデシュ、フィリピン、ウズベキスタン、モンゴル、キルギス、パキスタン、スリランカ、ネパール、ガーナ、ブータン、東ティモール、タジキスタン、ケニア、エルサルバドル、モルディブ

※中国は2012年、インドネシアは2006年に事業終了しました。

日本で専門知識を身に付け帰国した留学生は、日本との政策対話に携わり二国間強化に寄与する等、様々な場面で活躍しています。

人材育成奨学計画（JDS）は無償資金協力による JICA 留学生受入支援事業です。

## 編集後記

JDS Network News (JNN) をお読みいただき、ありがとうございます。

新型コロナウイルスがまだまだ猛威を振るっていますが、今年は JDS 留学生の一齐来日が可能となりそうです。

約 250 名もの JDS 留学生が、夏に一齐に東京に降り立つのは、3 年ぶりのことです。彼らには、大学入学前にオンラインと対面のハイブリッド型研修を受けていただきます。国を越えた出会いによって、新たな繋がりとなり更なる学びが生まれることに期待が高まります。

留学生の来日の準備でオフィスが賑やかになると、「懐かしい夏がやってきた！」と喜びがこみあげてきます。

JDS 事業に関するご質問がございましたら、お気軽にメールで弊センターまでお問合せください。また、本誌へのご意見・ご感想もお待ちしております。

### 【お問い合わせ先】

一般財団法人日本国際協力センター（JICE）  
留学生事業第一部 留学生事業課 広報担当  
E-MAIL: jds.PR@jice.org